

授業科目

小児看護学実習

担当教員名 松井 由美子、坪川 麻樹子、安藤 萌	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	90

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

小児看護学実習に参加し、講義・演習を通して学んだ小児看護に必要な知識や技術を使って看護を実践する。小児看護学実習は病棟実習と保育園実習で構成され、学内実習では保育園や病棟実習の準備のための自己学習とビデオ学習及び技術練習を行い臨床実習に備える。

授業の目的

子どもとその家族の環境や個性を理解し、子どもの発達段階の特徴や健康レベルに応じた小児看護学の基礎的実践に必要な知識・技術・態度を修得する。また、子どもや家族の権利を擁護し、倫理的に配慮をした援助や小児保健医療福祉の連携について考察する。

学習目標

1. 子どもの成長発達や健康レベルを理解し、個々に応じた援助的な人間関係を形成することができる。
2. 子どもの成長発達や健康維持・増進および発達障害に応じた環境など、安全な生活や環境について考えることができる。
3. 子どもの成長発達や健康上の看護問題を抽出し、看護ケアの一場面を看護過程を使って振り返ることができる。
4. 子どもや家族の個々の状態に応じて、権利を擁護した援助が実施できる。
5. 小児看護学における遊びや家族の重要性を理解し、援助の中で様々な工夫ができる。
6. 小児保健医療福祉の連携のあり方や看護職者の役割について考察できる。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1. 保育園実習(2日間)	保育園実習	松井 由美子 他
2. 病棟実習(5日間)	小児科病棟実習	松井 由美子 他
3. 学内実習(2日間)保育園学内準備(1日間)	自己学習・保育園オリエンテーション・保育園学内ビデオ学習・病棟実習事前技術練習・面接など	松井 由美子 他
2週間(10日間)を上記1～3の内容で構成する。	小児看護学教員全員で担当する。	松井 由美子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に指定しない					
参考書	こどもの病気の地図帳	鴨下重彦、柳澤正義監修	講談社	2002年	4,000円+税	
その他の資料	小児看護学実習要項・実習施設ガイド・小児実習ガイド					

評価方法

実習評価表・記録提出物により総合的に評価を行う。

実習評価表はルーブリックにより評価基準を明確に示している。十分な学習による「知識・理解」、看護計画による「思考・判断」、実習に対する「関心・意欲」、「実習態度」、コミュニケーションによる「技能・表現」で構成され評価される。

履修上の留意点

対象者は小児とその家族であり、特に子どもとその家族の権利擁護に留意して実習を行う。ルーブリック評価基準を熟読し、積極的な実習を行きましょう。

オフィスアワー・連絡先

matsui@nuhw.ac.jp

研究室：K403号室

オフィスアワー：木曜午前中

授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。